

重点事業調書

担当部局・課名		保健福祉部障害福祉課			
重点事業の名称		強度行動障害のある人に対する支援			
第3次 生き生き プラン	重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造			
	戦略の方向	1 保健・医療・福祉充実プログラム			
	施策	6 重点障害のある人の自立と社会参加の促進			
第2期 創生 戦略	基本目標	4 地域の活力を維持する			
	対策	4 地域の持続的発展のための活力の維持			
	課題パッケージ	4-② 地域社会の活性化			
終期設定(年度)	R7	予算区分	一般	事項名	障害者総合支援推進費、地域生活支援事業費
現状 課題 必要性	【現状】 - 強度行動障害とは、混乱や不安を感じていても言葉ではうまく表現できず、自傷や他害行為等が通常考えられない頻度と形式で出現している状態として定義されており、該当者は事業所での受入れが困難や、受入れ後の不適切な支援により虐待につながる恐れが懸念されている。(県内の強度行動障害のある人：388人 R1) - 一方で、支援によって他害などの危険を伴う行動の回数が減少するなどの支援の有効性も報告されており、施設における適切な支援が可能な体制整備が重要である。 【課題・必要性】 - 県内の福祉施設等への調査や関係団体からの意見等から、強度行動障害のある人に関わる支援者が多くの困難や負担を感じながら支援にあたっている実態が明らかとなっており、支援者からは効果的な支援ノウハウの提供や支援技術のスキルアップを望む声が寄せられている。 - こうした課題を解決し、支援者の負担軽減等を図ることが、強度行動障害のある人の支援の充実につながると考えられる。				
	1 強度行動障害への支援体制整備事業 (1) 新規強度行動障害への理解促進事業 - 強度行動障害のある人の理解促進を図るため、県民や関係者を対象としたシンポジウム等を開催 (2) 強度行動障害に関わる支援者等へ支援事業 - 受入れ事業所等の支援力向上を図るため、強度行動障害支援者養成研修修了者に対するフォローアップ研修等を行うとともに、スーパーバイザーの施設、病院、在宅、学校等への派遣コンサルテーション等を実施 ① 強度行動障害支援者養成研修 - 強度行動障害のある人に対する適切な支援を行う者を養成する法定研修を実施 ② 新規支援者等の資質向上研修 - 強度行動障害支援者養成研修（法定研修）修了後の施設職員等を対象に、事例検討等により現場での対応力を高めるための研修を実施 - 事業所としての支援方針や環境整備等に関与する役職者を対象に、体制整備や環境整備に係る研修を実施 ③ 新規スーパーバイザーの派遣コンサルテーション - 対応や支援方法について困っている保護者や事業所等からの相談助言を行う窓口を設置 - 施設や病院、学校、保護者等からの依頼に応じて、各分野の専門家（スーパーバイザー）を派遣し、ケース検討、対象者への対応、環境整備等に関する具体的助言などを実施 2 強度行動障害実態調査 (R5 R7 実施) 令和4年度に実施した実態調査によって浮かび上がった課題について、より具体的な調査・ヒアリングを実施				

令和6年度 岡山県主催

入場無料

強度行動障害

のある人への支援をみんなで考える

シンポジウム in 岡山

～支援からの産物～

日時 令和7年 1月18日（土）

13:00～16:30（開場12:20） 定員120名

場所 岡山県医師会館 4階 401会議室

岡山市北区駅元町19-2

※駐車場はありません。お車は近くのコインパーキング等をご利用ください

プログラム

はじめに

「強度行動障害支援の基本」 13:00～13:30

基調講演 13:30～14:30

「私が行動障害のある人から教わったこと」

福島 龍三郎 氏

社会福祉法人はる 理事長

シンポジウム 14:40～16:20

「強度行動障害支援から得られる産物とは」

強度行動障害のある人への支援
実は「やりがい」「喜び」「感動」など、
自分が成長するうえでたくさんの「産物」を頂けるのです。



横山 竜也

社会福祉法人弘徳学園
おかやま共育・共働センター
でんでん管理者



勢村 真里

児童発達支援
放課後等デイサービス
ワルツ所長



福島 龍三郎

社会福祉法人はる
理事長



川西 大吾

社会福祉法人 旭川荘
研修センター 副所長

強度行動障害とは

人に対して叩く、噛みつく、頭突きする。自分の顔が腫れあがるまで何度もたたき続ける、壁や窓ガラスに思い切り自分の頭を打ち付ける、1日のうち何度も大声を張り上げる。

通常の支援ではなかなか対応が難しい行動が表れている状態を「行動障害」または「強度行動障害」と呼びます。

行動障害を表している人は、人を困らせたいがために行っているのではなく、自分の中の不安や混乱が極限に達した時に、このような形で表出されるのです。正しくは、行動障害でしか自分の生きづらさを表現する方法がない状況に陥っているのです。

今回のシンポジウムでは、この強度行動障害の支援にスポットを当て、その背景にある要因、また効果的な支援の考え方など、一般の方でも分かりやすいように専門用語を使わず伝えていき、みんなで考え、多様性を認め合える社会を築く第一歩にしていきたいと思います。また困難さばかりが表面化される強度行動障害のある人への支援ですが、得られることも多く、支援者の支援力の向上だけでなく、人間としての成長も大いに期待できます。一人でも多くの方に知ってもらいたい内容です。お時間のある方はぜひ会場へ足を運んでください。入場は無料です。

こんな方におすすめ

- ・ 実際、行動障害のある人への支援で悩んでいる。
- ・ 直接関係はないが、行動障害のある人への支援方法を知りたい。
- ・ 現場で支援の統一を図りたいが、なかなかうまくいかず、悩んでいる。
- ・ 知らないうちに、何事も起こらないことが一日の仕事の目標になっている。
- ・ 強度行動障害の支援から得られる良いことを知りたい。

申し込み方法

(入場無料)

※申し込み多数の場合はお断りの連絡をさせていただく場合があります。お早めの申し込みをお勧めします(定員に達し次第、締め切らせていただきます)。

申し込み締め切り 令和6年12月25日(水) 定員120名

<https://forms.gle/v2jAVQxSHuq5Ei5G7>

パソコン、スマートフォン、FAXでお申し込みください。



申し込みFAX番号 086-224-6520

申し込みQRコード

所 属 (個人の場合は 「個人」)	(フリガナ) 氏 名	連絡先	
		①メールアドレス	②電話番号
		①	②
		①	②
		①	②
質問事項			

記入いただいたメールアドレス、電話番号等の個人情報は、本シンポジウムに関する連絡のみに使用します

お問い合わせ 岡山県障害福祉課 Tel 086-226-7345 (池上)